



田中小だより

令和元年度
2月号

昭島市立田中小学校 〒196-0014 昭島市田中町三丁目4番地1号 電話：042-543-1511 校長 土屋 正登

～～ 春を見据えて ～～

副校長 佐々木 光子

暖冬といわれている今年の冬ですが、朝晩の冷え込みはやはり冬らしい寒さです。インフルエンザや風邪が流行する時期ですが、本校は3学期が始まってから、今のところ落ち着いている状況です。引き続き、手洗い、うがい等の予防、そして運動と睡眠をしっかりとり、体調管理に心掛けていただきたいと思います。

11月の学校だよりで季節の話を書きました。今年は2月4日（火）が「立春」です、暦の上では、春になります。少しずつ暖かくなり、木々の芽も少しずつ膨らんでいきます。生き物も春に向けて準備を始める時期です。「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と季節の変わり目がありますが、その前日を「節分」と言い、江戸時代から「立春」の前日（2月3日）だけを「節分」というようになったそうです。ある意味、1年の始まりと終わりということもできます。「節分」には、家から鬼を追い払うために、豆まきをするという伝統行事があります。ご家庭でも豆まきをされているところも多いかと思います。諸説あると思いますが、その一説として、季節の変わり目には邪気（鬼）が生ずると考えられており、その邪気を追い払うために、豆をまくということだそうです。「鬼は外、福は内」という掛け声をかけながら、1年を無事に過ごせますようにという願いを込めて、家族みんなで豆まきをされてはいかがでしょうか。

さて、学校では大きな行事はほぼ終わり、あとは1年間の学習のまとめとし、卒業式に向けて全校あげて準備を進めていく時期となります。各学年に応じて、次の学年を見据えながら心と体の準備を始めてもらいたいと思います。その振り返りの一つとして、この1年間で自分が「何ができるようになったか」を具体的に書き出していくという方法があります。意外と多くのことができるようになっていくことに気付けるとともに、次に向けた頑張る意欲にもつながるのではないかと思います。

春は、そこまで来ています。春を見据えて、前向きにあと2か月過ごしていきたいと思います。

〇〇 頑張りました 〇〇

1月18日（土）に、第54回 昭島市特別支援学級合同学習発表会がありました。ふたば学級22名の児童が、11月の学習発表会で演じた劇「もりのおとぶくろ」を、KOTORIホールで発表し、大きな拍手をいただきました。ホールにいらした大勢のお客さんの前で、日頃の学習の成果を発表したことは、子供たちにとって大きな自信につながりました。

また来年度の発表に向け、日々の学習を積み重ね、さらに一人一人のよさを活かした発表になるように指導していきたいと思います。